

常磐自動車道 相馬南地区路線測量

特記仕様書

令和 7 年 9 月

東日本高速道路株式会社 東北支社

いわき工事事務所

## 第1章 総則

1-1	調査等概要 .....	1
1-2	適用する共通仕様書 .....	1
1-3	テクリスへの登録 .....	2
1-4	履行期間 .....	2
1-5	資料の貸与 .....	3
1-6	受注者相互の協力 .....	3
1-7	発注者または監督員が行う協議 .....	3
1-8	計画工程表 .....	4
1-9	調査等打合簿の作成及び提出について .....	4
1-10	成果品 .....	4
1-11	ウィークリースタンスの取組み .....	5

## 第2章 業務細部に関する事項

2-1	基本基準点測量 .....	6
2-2	路線測量 .....	7
2-3	打合せ .....	7
2-4	交通費・宿泊費 .....	7
2-5	成果品 .....	8

## 第3章 補足事項

3-1	遠隔立会 .....	9
3-2	設計図書の変更及び追加が予想される内容 .....	9

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 常磐自動車道 相馬南地区路線測量

1-1-2 路線名 常磐自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 福島県南相馬市鹿島区浮田 (STA386+10)  
至) 福島県相馬市栗津 (STA465+50)

### 1-1-4 主な履行内容

#### 基準点測量

基本基準点測量 2級基準点測量 7 点

補助基準点測量 (4級) 3.03 km

水準測量 3級水準測量 3.03 km

#### 路線測量

現地踏査 4.00 km

第1種中心線測量A 3.03 km

縦断測量 3.03 km

横断測量 3.03 km

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1－3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－12－4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 100 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内

（２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内

（３）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

### 1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式－2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 90 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 330 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

### 1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中の調査等業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
報告書	常磐自動車道	契約締結の日の翌日より	電子データ
	鹿島北地区路線測量	7日以内	(I期線)
	常磐自動車道	契約締結の日の翌日より	電子データ
	相馬南地区路線測量	7日以内	(I期線)

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く。

### 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
常磐自動車道 鹿島地区路線測量	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施行
常磐自動車道 鹿島地区土質調査	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施行
常磐自動車道 山元南 S I C ～ 山元 I C 間路線測量	2025年3月20日～ 2026年12月9日	(株)聖測コンサル タント	東日本高速道路(株)	関連業務

### 1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

#### ・道路関係

区間	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
常磐自動車道 南相馬 I C ～ 相馬 I C 間	東日本高速道路(株) 東北支社 いわき管理事務所	道路敷地内への立入	令和7年度下期

## 1-8 計画工程表

### 1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-1)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、及び共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種 別	項 目	備 考
測量	準備及び後片付け	
	基本基準点測量	
	路線測量	
	報告書・成果品作成	

### 1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

## 1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内(休日等を除く)に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内(休日等を除く)に受注者へ返送するものとする。

## 1-10 成果品

共通仕様書 1-46-1「成果品」によらず下記の通りとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね 30 日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合せ簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など(当該調査等以降に実施される業務)に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

#### 1-11 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 基本基準点測量

基本基準点測量、補助基準点測量、水準測量の各地域区分については、いずれも「耕地・低山地」とする。

#### 2-1-1 基本基準点測量の作業条件

基本基準点測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 伐採の有無

無

(2) 測量標設置の有無

有

(3) 囲い杭設置の有無

無

(4) 測量成果検定

有

2級基準点測量

総数：7点 実延長：3.03km

(5) 基準点の種別

コンクリート杭

#### 2-1-2 補助基準点測量の作業条件

補助基準点測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 伐採の有無

無

#### 2-1-3 水準測量の作業条件

水準測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 測量成果検定

有

3級基準点測量

総数：4点 実延長：3.03km

(2) 基準点の種別

標石



## 2-2 路線測量

現地踏査、中心線測量、縦断測量、横断測量の各地域区分については、いずれも「耕地・低山地」とする。

### 2-2-1 中心線測量 第1種中心線測量Aの作業条件

中心線測量 第1種中心線測量Aの作業条件は次のとおりとする。

(1) 単曲線換算曲線数

— 0.1

(2) 測定間隔

20 m

### 2-2-2 横断測量の作業条件

横断測量の作業条件は次のとおりとする。

(1) 単曲線換算曲線数

— 0.1

(2) 測定間隔

20 m

(3) 測定幅

I期線側、II期線側を合わせて45 m以上～75 m未満

## 2-3 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め7回とする。当初の打合せは現地踏査に併せて行い、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社いわき工事事務所相馬分室（福島県相馬市）で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

## 2-4 交通費・宿泊費

### 2-4-1 交通費・宿泊費（外業）

交費・宿泊費（外業）とは、測量業務の外業に必要な交通費・宿泊費のことをいう。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

#### 2-4-2 交通費・宿泊費（打合せ）

交費・宿泊費（打合せ）とは、測量業務に関する打合せに必要な交通費・宿泊費のことをいう。  
なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

#### 2-5 成果品

報告書の表紙は、黄土色（ダイニック アートベラム VC34 1/2）、黒文字製本とする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書1-23「立会い及び検査」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

#### 3-2 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議または現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- ・ 中心線測量等の結果に伴う補足測量の追加

常磐自動車道 相馬南地区路線測量 設計工程表（案）

【様式-1】

1測量業務

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)  
(実行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

項 目	日 程	計画準備																								備 考
		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 調査計画																										
2. 既往資料（貸与資料）の確認・整理																										
3. 測量業務																										
作業計画																										
基準点測量 基本基準点測量 1級基準																										
基準点設置 コンクリート杭																										
基準点設置 補助基準点測量（4級）																										
基準点測量 水準測量 3級水準測量																										
路線測量 現地踏査																										
路線測量 縮図作成																										
地形測量 詳細測量																										
航空レーザ測量																										
5. 施工への申し送り事項																										
6. 照 査																										
7. 報告書作成																										
8. 監理員による成果品確認																										
9. 電子成果品作成																										
10. 打合せ																										
11. 業務検査・完了検査																										

業務内容確認検査● 完了検査●

3関連業務

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	実施会社名	10月												11月												備 考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30							
1. 地形地質																													
1.〇〇自動車道 △△地区付加車線道路設計		有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月																										
2.〇〇自動車道 ○〇地区用地詳細測量		有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月																										
3.〇〇自動車道 ○△地区用地詳細測量		有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月																										
4.〇〇自動車道 ☆☆～〇〇間水文調査		有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月																										

4関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
①交差管理者協議																																					
道路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
河川	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
用水路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
排水路	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
水運	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
②警察協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
③地元協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		
④その他関係事項協議	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																		

5その他関係事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30							
①〇〇に関する技術的検討	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	受注者																																					
②〇〇に関する技術的判断	有・無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																																					

6 協議内容、結果等

協議内容経緯等	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者	〇月〇日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント（記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を適宜の上作成すること）  
①適切な工程管理（履行期間の確保）を図ることを目的とする。  
②関連する調査業務や設計業務など、関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示・関係協議の期日を明確化する。  
③協議時期と内容（結果）を工程表に明示することにより、打合せ時期・内容に工程上の遅れがないよう確認する。  
④照査の時期と内容（結果）を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されていることを確認する。  
⑤本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計ミスの防止、品質の確保を図る。  
⑥なお、本表は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項  
①関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと  
②協議待ちによる遅延の場合工程上のリタイカルを明示すること。  
③工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し、確認を行うこと。

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 常磐自動車道 相馬南地区路線測量

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)